

事業報告

2010年度生涯学習教育研究センター事業の実施報告

1 公開講座

■生涯学習教育研究センター

講座名	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
体験・大学の化学実験	8/7・8	機器分析センター准教授・近藤 満 理学部助教・仁科直子	中学生以上	2,000	静岡大学静岡 キャンパス	15	8
沼津の古代遺跡を考える	9/4・11・ 18	人文学部教授・滝沢 誠 人文学部准教授・篠原和夫 静岡県教育委員会・菊池吉修	一般市民	2,000	沼津市民文化 センター	50	43

■人文学部

講座名	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
多文化共生社会における ヒューマン・ケア	5/26・ 6/2・9・ 16・23・ 30	人文社会科学部教授・笠井 仁 静岡県立大学短期大学部助教・天野ゆかり 人文社会科学部准教授・堂園俊彦 大学院法務研究科教授・藤本 亮 人文社会科学部准教授・竹ノ下弘久 人文社会科学部教授・船橋恵子	医療や福祉に従 事する方、滞日 外国人のサポ ートに携わって いるNPO関係者、 教員、行政関 係者、関心のあ る一般市民の方	1,700	アイセル21(葵 生涯学習セン ター)	30	28

■教育学部

講座名	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
安心登山のための読図とナ ヴィゲーションスキル(春期)	5/15・ 5/16	教育学部教授・村越 真 オリエンテーリング日本代表・松澤俊行 ブロードベンチャーレーサー・宮内佐季子 登山家・岩崎元郎	登山・アウトド ア活動を行う一 般市民	3,000	静岡大学静岡 キャンパス	25	23
安心登山のための読図とナ ヴィゲーションスキル(秋期)	10/23	教育学部教授・村越 真 オリエンテーリング日本代表・松澤俊行 ブロードベンチャーレーサー・宮内佐季子	登山・アウトド ア活動を行う一 般市民	3,000	静岡大学静岡 キャンパス	25	29
運動習慣を身につけたいシ ニアのための卓球入門教室	10/2・3	教育学部教授・吉田和人 NPO法人卓球交流会・山田耕司	おおむね50歳 以上の卓球未経 験の一般市民	3,000	静岡大学静岡 キャンパス	50	17
ノルディックウォーキング& エクササイズと里山自然体 験	11/1・ 8・15・ 3/14・28	教育学部准教授・杉山康司 教育学部准教授・祝原 豊 教育学部技術専門職員・重岡廣男 名誉教授・中野偉夫	メディカルチェッ ク等で歩くこと を制限されてい ない健康な方	10,000	静岡大学静岡 キャンパス	25	19

■教育実践総合センター

講座名	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
小学校外国語活動スキルア ップ講座Ⅲ	8/20	教育学部准教授・矢野 淳	静岡県内小・中 学校教員	500	静岡大学静岡 キャンパス	25	4

■農学部

講座名	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
バイオテクノロジー体験 ～生長点培養をしてみよう～	10/30	農学部准教授・河原林和一郎 農学部助教・浅井辰夫 農学部助教・八幡昌紀 農学部技術専門職員・増田幸直	中学生以上	800	静岡大学農 学部附属地 域フィールド	16	14
家庭果樹を楽しもう!! ～果樹のせん定教室～	2/26	農学部技術専門職員・西川浩二 農学部技術専門職員・成瀬博規 農学部技術職員・成瀬和子	高校生以上	1,500	科学教育研 究センター藤 枝フィールド	10	9

■工学部

講座名	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
人間力と技術力との統合 (静岡会場)	5/7・20・ 6/3・17・ 7/2	工学研究科教授・館岡康雄 工学部准教授・前田恭伸 情報基盤機構教授・井上春樹 工学研究科教授・相原憲一 工学研究科教授・上田芳伸	起業を目指す 方、新しい価 値観を考えたい方	3,200	静岡市産学 交流センター B-nest	45	15
人間力と技術力との統合 (浜松会場)	5/14・21 ・6/10・ 18・7/9	工学研究科教授・上田芳伸 工学研究科教授・相原憲一 工学部准教授・前田恭伸 情報基盤機構教授・井上春樹 工学研究科教授・館岡康雄	起業を目指す 方、新しい価 値観を考えたい方	3,100	アクトシティ 浜松・研修 交流センター	45	24

■情報学部

講座名	テーマ	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
情報学アラ カルト講座 2010	情報の機能について～操作と管理～	11/13	情報学部教授・南利明	一般市民	各500	静岡大学浜 松キャンパ ス	150	59
	インターネット、モバイル、クラウド、そしてデジタル化社会へ		情報学部教授・水野忠則					
	市民ネットワークシステムの展開～公共機関、企業、そして大学とのコミュニケーションの未来～		情報学部教授・湯浦克彦					

■地域連携協働センター

講座名	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
仕事に活かそう エクセル統計分析の手法	7/10・17・ 24	地域連携協働センター特任教授・土居英二	一般市民	1,000	静岡市産学 交流センター B-nest	50	43

■国際交流センター

講座名	開催日	講師	対象	受講料	会場	定員	実数
浜松で日本語ボランティア ～日本語と日本語教育の基礎知識～	5/15・22・ 29・6/5・ 12・26・ 7/3・10・ 24・31	国際交流センター准教授・袴田麻里 国際交流センター教授・原澤伊都夫 国際交流センター教授・熊井浩子 国際交流センター准教授・案野香子 国際交流センター非常勤講師・松葉優子 学習院大学文学部教授・金田智子	地域における 外国人のための 日本語学習支 援活動に興味 がある方、その ような活動を始 めたばかりの方	13,000	静岡大学浜 松キャンパス	30	35

2 静岡大学創立60周年記念事業

静岡大学は、2009年度に創立60周年を迎え、その記念事業として数々の催しを行った。生涯学習教育研究センターでは、以下の記念事業を2010年度も継続して実施した。

■静岡大学・読売新聞連続市民講座「未来につなぐ、食と健康」

テーマ	回	日時	タイトル	講師	参加者
食	1	5/8	食の安全性について	農学部教授・杉山公男	133
	2	6/5	発酵の仕組みと酵母の秘密	理学部教授・瓜谷真裕	135
	3	7/3	機能的食品としての緑茶～緑茶によるメタボリックシンドローム予防を中心として～	農学部准教授・茶山和敏	110
	4	8/7	日本の伝統的食生活・再考	教育学部教授・矢野敬一	101
健康	5	9/4	疾病予防と健康観	保健管理センター教授・山本裕之	87
	6	10/2	環境ホルモンの影響	理学部教授・山内清志	81
	7	11/6	いのちをめぐる倫理	人文学部教授・松田 純	80
	8	12/4	アウトドア：安全に楽しく	教育学部教授・村越 真	65

・会場：静岡市産学交流センター（B-nest）6階プレゼンテーションルーム

- ・参加費：無料
- ・主催：静岡大学生涯学習教育研究センター、読売新聞東京本社静岡支局

■静岡大学・中日新聞連携講座「これからの〈まち〉の姿を考える～工学&情報学の視点から～」

回	日時	タイトル	講師	参加者
1	11/13	本当のエコライフって、何だろう?～環境問題のウソ・ホントを見分けるために～	工学部准教授・松田 智	54
2	12/11	超臨界・亜臨界流体がひらく新しい環境・エネルギー技術	創造科学技術大学院教授・佐古 猛	50
3	1/8	ガバナンス(情報共有と合意形成) からみた平成の市町村合併	情報学部教授・西原 純	45
4	2/12	経営情報学からモノづくりのまち・浜松を考える	情報学部教授・田中宏和	50
5	3/5	東海地震について考えるための防災ゲーム	工学部准教授・前田恭伸	36

- ・会場：[第1回] 静岡大学浜松キャンパス総合研究棟3階31 講義室
[第2回～5回] TKP 浜松カンファレンスステーション会議室1 (浜松駅ビル「MAY ONE」4階)
- ・参加費：無料
- ・主催：静岡大学地域連携協働センター、静岡大学生涯学習教育研究センター、中日新聞東海本社

■静岡大学・コープしずおか連携講座「自分らしく生きる～豊かなライフスタイルに向けて～」

回	日時	タイトル	講師	会場	参加者
1	7/3	健康と運動～いくつになっても自分のことは自分でやる～	教育学部教授・中野美恵子	静岡市産学交流センター (B-nest) 6階プレゼンテーションルーム	41
2	8/28	食品化学の世界～安全・安心な食品とは～	農学部教授・衛藤英男		42
3	10/2	環境問題のウソ・ホント～自分の頭で考えよう!～	工学部准教授・松田 智		45
4	12/18	グリーンコンシューマーを目指して～地球環境も家計も守る～	しずおか市消費者協会・佐藤エイ子		26
特別講座1	11/9	清沢塾棚田 稲刈り体験		清沢塾	16
特別講座2	1/29	食と農を考える	名誉教授・棚田再生プロジェクト清沢塾塾長・中井弘和	コープ富士中島店	9
特別講座3	2/5	非栄養素の栄養学～食物繊維の多様な機能～	農学部教授・森田達也	コープ小豆餅店	15
特別講座4	3/5	①食品科学の世界～安全・安心な食品とは～ ②キノコの化学・科学～菌類の栄養・薬効を探る～	①農学部教授・衛藤英男 ②創造科学技術大学院・農学部教授・河岸洋和	三島商工会議所	16
特別講座5	3/12	泳げる佐鳴湖を取り戻そう～アメニティ佐鳴湖プロジェクト～	工学部准教授・戸田三津夫	コープさんじの店	17

- ・参加費：200円 (資料代)
- ・主催：静岡大学、コープしずおか

■静岡大学創立60周年記念公開シンポジウムⅡ「それはいかに実現されたのか？」

回	日時	タイトル	パネリスト	参加者
2	4/24	今、戦争と平和について考える	名誉教授・山本義彦 名誉教授・高橋洋児	37
3	6/26	食ること、生きること～未来の食と農の姿～	総合地球環境学研究所副所長・佐藤洋一郎 農家・自然農提唱者・川口由一 名誉教授・中井弘和	72
4	8/28	科学とテクノロジーが辿る道	名誉教授・愛知東邦大学教授・荒川 紘 名誉教授・静岡理工科大学学長・荒木信幸 名誉教授・天岸祥光 名誉教授・石川勝利	30
5	10/30	教育・福祉・地域づくり～よりよく生きるために～	名誉教授・小櫻義明 名誉教授・常葉学園大学学長・角替弘志 名誉教授・石井正春	20

回	日時	タイトル	パネリスト	参加者
6	12/18	いま、再び<いのち>を考える	林試の森クリニック院長・石川憲彦 人文学部教授・松田 純 日本福音ルーテル教会雪ヶ谷教会牧師・田島靖則	44

- ・会場：静岡市産学交流センター（B-nest）6階プレゼンテーションルーム
- ・コーディネーター：中井弘和（静岡大学名誉教授）
- ・参加費：無料

3 主催事業

①公開シンポジウム「学習ネットワークと生涯学習⑬」

情報ネットワークを活用した学習—交流支援システム、市民対象の大学教育プログラムにおけるeラーニングシステムなどを取り上げながら、生涯学習のための学習ネットワーク構築の可能性を検討した。

- ・日時：2011年2月1日（火）14:25～15:55
- ・会場：：静岡大学共通教育A棟301教室
- ・プログラム：
 - ①「主体的に学ぶ子どもの育成を目指した、「子どもの「学びの場」充実事業」について～「ふじのくにゆうゆうnet」と「ゆうゆうポイントラリー」の取組を例に～」報告者：工藤陽明（静岡県総合教育センター生涯学習推進室指導主事）
 - ②「社会人学び直しニーズ対応教育プログラムと大学eラーニングシステム」報告者：徳山真治（静岡大学農学部准教授）
- ・コーディネーター：菅野文彦（静岡大学教育学部教授）
- ・参加費：無料
- ・参加者数：78人

②公開セミナー「学ばって楽しい！～大学で学ぼう～」

知的障害のある人が、学校卒業後も生涯学習の機会を持ち、より豊かな人生を送ることができるようにすることを目的に実施した。前期と後期の2回、それぞれ別の内容で実施した。

[前期]

- ・日時：2010年6月20日（日）9:10～12:00
- ・プログラム：
 - ①「アイスブレイク～学びのなかま～」講師：大畑智里（静岡大学教育学部附属特別支援学校教諭、学校心理士）
 - ②「描くことの魅力を探ろう～色やかたちを見つめて～」講師：高橋智子（静岡大学教育学部講師）
- ・参加費：300円（材料代）
- ・会場：静岡大学教育学部B棟212教室
- ・参加者数：53人

[後期]

- ・日時：2010年10月17日（日）9:15～12:15
- ・プログラム：
 - ①「アイスブレイク～学びのなかま～」講師：大畑智里（静岡大学教育学部附属特別支援学校教諭、学校心理士）
 - ②「日本の食文化を知ろう！」講師：新井映子（静岡県立大学食品栄養学部教授）
 - ③「世界の人と「こんにちは！」」講師：案野香子（静岡大学国際交流センター准教授）
- ・参加費：無料
- ・会場：静岡大学学生会館ホール

- ・参加者数：116人

[共通事項]

- ・参加者：静岡県の知的障害養護学校等卒業の社会人（18歳以上）、県立特別支援学校等の教員、青年学級等の関係者・保護者、静岡大学教育学部特別支援教育（障害児教育）専攻の学生、静岡県知的障害者就労研究会会員など
- ・企画：静岡県知的障害者就労研究会

③しずだい飛ぶ教室in吉田町「三国志の世界～戦争と平和～」

「しずだい飛ぶ教室」は、地域への大学開放事業の一つとして、静岡大学関係の教職員が、静岡県内の遠隔市町へ出向き、出前講演等を行うもので、大学の特徴ある教育研究を地域に広げ、大学への関心を高め、地域の生涯学習に資することを目的としている。今回は、「三国志の世界～戦争と平和」というテーマで、400年間にわたる長期政権であった漢帝国が崩壊し、新たな政権が生み出される動乱の時代である三国時代の特色と動向を、軍事史を中心に概観した。

- ・日時：2010年8月26日（木）19:30～21:00
- ・会場：吉田町中央公民館
- ・講師：重近啓樹（静岡大学人文学部教授）
- ・参加費：無料
- ・対象：高校生以上
- ・参加者数：42人
- ・共催：吉田町教育委員会・静岡大学人文学部

④サイエンスカフェin富士（しずだい飛ぶ教室）「ケイ素の有機化学～生活に役立つシリコンの科学～」

富士市教育委員会の仲介により、「サイエンスカフェ」と連動した企画として実施した。「サイエンスカフェ」の文字通り、喫茶店を会場にしたため、コーヒーを片手にくつろいだ雰囲気の中で最先端の科学に接する機会となった。月に着陸したアポロ11号の飛行士が履いていた月面靴から、長時間装着型のコンタクトレンズ、歯の型取り、鍋の落とし蓋にいたるまで、いろいろなところで使われているシリコンの科学について、実験や実演を交えながら楽しく学んだ。

- ・日時：2010年12月1日（火）18:00～19:40
- ・会場：ウィンストンカフェ
- ・講師：坂本健吉（静岡大学理学部教授）
- ・参加費：500円（ドリンク・クッキー付）
- ・参加者数：37人
- ・共催：富士市教育委員会

4 共催事業

①博物館フォーラム「博物館活動と学芸員資格～現場の声を聞く～」

博物館の業務は、主に学芸員資格を有する専門職員によって担われている。ところが、資格を取得しても実際に博物館に就職できる割合はごくわずかで、学芸員資格を生かせるような仕事に就くのはきわめて厳しい状況にある。一方、専門職としての学芸員だけではなく、一般事務として採用され博物館に配属されている場合や、学校の教員が指導主事のような形で博物館に派遣されている場合など、現実には、さまざまな形で学芸員資格が活かされ、博物館を支えている。そこで、静岡大学で学芸員資格を取得し、さまざまな形で博物館と関わりを持ちながら仕事をしている人々をお招きして、どのような経緯で就職し、現在どのような仕事をしているのか等、現場からの声を交えながら、多様な博物館との関わり方を探った。

- ・日時：2011年2月3日（木）12:45～14:15
 - ・会場：静岡大学共通教育A棟301教室
 - ・プログラム：
 - ①「これまでのキャリアと博物館との関わりについて」報告：織田一平（丸岡町文化振興事業団）
 - ②「大学で学んだことを、美術館でどう生かすか」報告：安岡真理（静岡市美術館）
 - ・コーディネーター：金子 淳（静岡大学生涯学習教育研究センター准教授）
 - ・参加費：無料
 - ・対象：学芸員取得希望学生および関心のある学生、一般市民、博物館関係者、学芸員課程関係教職員
 - ・参加者数：119人
 - ・主催：静岡大学生涯学習教育研究センター、静岡大学大学教育センター
- ※本フォーラムは、大学生の就業力育成支援事業の一環として実施した。

②生涯学習指導者研修事業「公民館の現状と可能性を考える」

静岡県内の公民館活動などを通して、生涯学習事業を展開している生涯学習指導者への教育研究情報の提供と大学とのネットワークづくりを進めるとともに、指導者の資質の向上をはかることを目的に、静岡県公民館連絡協議会との連携事業として実施した。

公民館を取り巻く環境は近年大きく変化し、社会教育・生涯学習の場として、これまで以上に地域の住民・機関・団体との連携・協働が求められている。地域の学びを広げる様々な取り組み事例に学び、また公民館が直面している課題と地域からの期待を探りながら、公民館の現状と可能性を検討した。

- ・日時：2011年2月9日（水）10:30～16:00
- ・会場：島田市立金谷公民館（金谷生涯学習センター「みんくる」内）
- ・プログラム：
 - ①基調講演「地域（まち）が学びの場となるために」講師：弓削幸恵・村上敏（まちなびや（学区のお宝さがしプロジェクト））
 - ②事例報告
 - ・「こどもの講座とボランティア」報告者：青島敏文（焼津市焼津公民館長）
 - ・「人づくり・地域づくりの拠点として「住んで良かった！」と言える地域を目指す」報告者：絹村和弘（磐田市南御厨公民館長）
 - ・「「おやじの井戸端」講座～団塊世代の生きがいづくり～」報告者：山本明美（島田市金谷公民館嘱託職員）
 - ・「生涯学習センターへの期待～静岡市民への意識調査から～」報告者：望月雄司（静岡市葵生涯学習センター事業担当係長）
 - ・「県内公民館・生涯学習施設への調査結果報告」報告者：静岡大学教育学部生涯学習専攻学生
 - ・「生涯学習特別研究（卒業研究）報告」報告者：常葉学園大学教育学部生涯学習学科学学生
 - ③パネルディスカッション
 - ・パネリスト：事例報告者
 - ・コメンテーター：猿田真嗣（常葉学園大学教育学部教授）
 - ・コーディネーター：菅野文彦（静岡大学教育学部教授）
- ・参加者数：101人
- ・参加費：無料
- ・主催：静岡県公民館連絡協議会、静岡大学生涯学習教育研究センター

5 企画協力事業

①静岡市・大学連携事業 市民大学リレー講座「静岡市を学ぶ」

- ・日時：2010年8月7日～9月25日 [全5回] 13:30～15:00
- ・会場：アイセル21
- ・プログラム：
 - ①8/7（土）「薬食同源～健康長寿に向けて～」講師：野口博司（静岡県立大学教授）
 - ②8/28（土）「静岡市の魅力を探る～水産都市としての横顔～」講師：関いずみ（東海大学准教授）
 - ③9/4（火）「平成の市町村合併と新静岡市の誕生」講師：西原 純（静岡大学情報学部教授）
 - ④9/11（土）「山岡鉄舟と明治の群像」講師：日比野秀男（常葉学園大学教授）
 - ⑤9/25（土）「コミュニティの「福祉化」を考える～静岡市の健康福祉策が目指すもの～」講師：青山登志夫（静岡英和学院大学教授）
- ・参加費：無料
- ・主催：静岡英和学院大学、静岡県立大学、静岡大学、東海大学、常葉学園大学、静岡市
- ・企画協力：静岡大学生涯学習教育研究センター

②静岡市・大学連携事業 市民大学リレー講座「お茶に注目！」

- ・日時：2010年10月9日～11月20日 [全3回] 13:30～15:00
- ・会場：静岡市産学交流センター（B-nest）
- ・プログラム：
 - ①10/9（土）「茶文化の起こり」講師：埋田重夫（静岡大学人文学部教授）
 - ②11/13（土）「緑茶は脳にとっても良いらしい」講師：横越英彦（静岡県立大学食品栄養科学部教授）
 - ③11/20（土）「お茶の建築と景観」講師：土屋和男（常葉学園大学造形学部准教授）
- ・参加費：無料
- ・主催：静岡英和学院大学、静岡県立大学、静岡大学、常葉学園大学、静岡市
- ・企画協力：静岡大学生涯学習教育研究センター

③吉田町特別講座「静岡と近代化」

- ・日時：2010年11月4日～12月9日までの毎週木曜日 [全6回] 19:30～21:00
- ・会場：吉田町中央公民館
- ・プログラム：
 - ①11/4「静岡県の地域性と経済社会の歴史」講師：山本義彦（静岡大学名誉教授）
 - ②11/11「グローバル化の下でのこれからの地域経済社会」講師：山本義彦
 - ③11/18「静岡県の近代文化の地域的特性」講師：上利博規（静岡大学人文学部教授）
 - ④11/25「これからの静岡の文化」講師：上利博規
 - ⑤12/2「静岡県の移民・外国人住民と多文化共生」講師：竹ノ下弘久（静岡大学人文学部准教授）
 - ⑥12/9「青年の教育と就労」講師：荻野達史（静岡大学人文学部准教授）
- ・参加費：3,000円
- ・主催：吉田町教育委員会
- ・企画協力：静岡大学生涯学習教育研究センター

④地域連携協働センター公開シンポジウム「地域と大学を結び～教育・研究・地域連携の融合をめざして～」

地域と大学の連携・協働の取り組みにおいて、教職員だけでなく学生たちが大きな役割を果たしている。教職員と学生がともにかかわる地域との連携・協働はまた、キャンパスにおける教育・研究を活性化し、深

めている。今回のシンポジウムでは、教職員・学生が市民とともに地域の課題に取り組んだ事例を紹介しながら、これからの地域連携のあり方を考えた。

- ・日時：2011年1月26日（水）17:45～20:00
- ・会場：〔浜松会場〕 静岡大学浜松キャンパス総合研究棟24
〔静岡会場〕 静岡大学静岡キャンパス共通教育A棟301教室
※遠隔テレビシステムで2会場を結んで実施。

・プログラム：

(1) 事例報告

- ①「アメニティ佐鳴湖プロジェクトについて」報告：戸田三津夫（静岡大学工学部准教授）、鈴木孝志（静岡大学工学部4年）
〔地域から〕 高橋邦武（浜松市富塚地区自治会連合会長）
- ②「情報学部地域連携推進室の活動」報告：岡田安功（静岡大学情報学部教授・地域連携室長）、静岡大学情報学部学生
〔地域から〕 土屋英二（浜松商工会議所）
- ③「プロジェクト型授業における地域連携・協働」報告：小二田誠二（静岡大学人文学部教授）、平野雅彦（静岡大学人文学部客員教授）、吉野亜湖（静岡大学非常勤講師）、秋枝伶子（静岡大学人文学部3年）
〔地域から〕 新名隆大（テレビ静岡制作部）、吉本邦弘（足久保ティーワークス）

(2) パネルディスカッション

- ・コーディネーター：満井義政（静岡大学地域連携協働センター特任教授）
- ・参加者数：187人（〔浜松会場〕 学生46人、一般30人 〔静岡会場〕 学生106人、一般5人）
- ・参加費：無料
- ・主催：静岡大学地域連携協働センター
- ・企画協力：静岡大学生涯学習教育研究センター

4 市民開放授業

静岡大学市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目の一部を一般市民の方に開放し、正規学生と一緒に受講できるようにしたもので、2005年度から実施している。受講者数、開講科目数等のデータは以下の表のとおりである。

①受講者数

年度	受講者数	平均年齢
2005年度	106	58.2
2006年度	154	59.9
2007年度	137	62.0
2008年度	166	61.7
2009年度	203	60.8
2010年度	217	62.3

②開放科目数

年度	共通	人文	教育	理	農	工	情報	法科	計
2005年度	116	89	14	12	7	6	10		254
2006年度	127	87	21	118	13	7	10		383
2007年度	128	114	21	77	7	9	10		366
2008年度	143	85	17	93	88	7	0	1	434
2009年度	96	106	21	103	85	4	12		427
2010年度	144	114	19	112	83	10	11		493

③受講科目数

	共通	人文	教育	理	農	工	情報	法科	計
2005年度	56	33	5	0	2	0	0		96
2006年度	63	47	7	9	2	1	3		132
2007年度	48	46	5	11	5	0	1		116
2008年度	50	58	5	13	14	0	0	1	141
2009年度	50	61	3	26	23	2	4		169
2010年度	57	63	4	33	21	4	7		189

④受講者状況

□居住地地別受講者数

居住地	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
神奈川県足柄郡	0	0	0	2	2	2
伊豆の国市	0	0	0	1	1	0
伊東市	0	0	0	1	1	2
沼津市	2	2	3	3	1	1
富士市	0	1	0	0	2	7
富士宮市	1	3	2	2	2	3
三島市	2	2	0	2	3	2
御殿場市	1	2	1	0	0	1
志太郡	3	3	2	1	0	0
菊川市	1	0	0	0	0	0
掛川市	1	1	2	1	2	0
静岡市	75	99	101	130	141	129
藤枝市	4	11	12	12	12	14
焼津市	4	3	0	0	8	13
磐田市	0	4	0	3	0	2
御前崎市	0	0	0	0	5	4
引佐郡	1	0	0	0	0	0
湖西市	0	3	2	2	2	2
島田市	4	4	2	2	0	0
榛原郡	2	2	0	0	0	3
浜松市	4	13	9	4	20	27
袋井市	0	0	0	0	1	1
牧之原市	0	1	1	0	0	2
周智郡	0	0	0	0	0	1
豊橋市	1	0	0	0	0	0
愛知県春日井市	0	0	0	0	0	1
計	106	154	137	166	203	217

□年齢別受講者数

年齢	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
20～24	1	4	1	3	1	1
25～29	4	5	2	1	6	0
30～34	4	4	1	2	7	5
35～39	2	0	5	6	3	6
40～44	7	6	5	2	8	9
45～49	6	11	7	7	9	12
50～54	8	6	6	13	10	10
55～59	13	23	10	12	17	17
60～64	33	39	30	40	54	57
65～69	16	33	37	42	42	45
70～74	9	15	20	24	28	33
75～79	2	6	11	9	13	14
80～84	1	2	2	2	4	5
85～89	0	0	0	0	1	3
計	106	154	137	163※	203	217

※3名年齢未記入

□一人当たりの受講科目数

受講科目数	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
1科目	51	92	77	89	123	129
2科目	34	34	44	45	47	42
3科目	10	21	12	22	18	28
4科目	6	4	2	3	9	14
5科目	3	2	0	4	3	1
6科目	2	0	2	1	1	1
7科目	0	0	0	0	1	2
8科目	0	1	0	2	1	0
計	106	154	137	166	203	217